

23 名の研修生が参加した 1 年間の国際地震工学研修の 閉講式が 9 月 16 日に建築研究所で執り行われます。

国立研究開発法人建築研究所では、1960 年に開始以来開発途上国から若い研究者や技術者を招き、地震学・地震工学・津波防災に関する「国際地震工学研修」（※注）を国際協力機構（以下 JICA）と協力して行っています。

表記の 1 年間の「国際地震工学研修」は、建築研究所及び政策研究大学院大学（GRIPS）、JICA との連携により、所定の単位を取得すれば、修士号の取得が可能な研修となっています。

昨年 10 月に開講した「第 55 回国際地震工学研修」には、12ヶ国 23 名の研修生が参加し、修士号学位を取得しました。閉講式は、9 月 16 日（水）10:30～建築研究所 2 階講堂において行われます。

過去の研修修了生には、インドネシア教育文化省のサントソ高等教育局長（バンドン工科大学元学長）（1979 年修了）、パキスタン気象庁のアリフ長官（1986 年修了）やネパール都市開発省のスッパ顧問（1991 年修了）らを輩出しております。

<参考：研修生の出身国名（12ヶ国＝23名）>

アルジェリア、バングラデシュ(2)、エクアドル(2)、エルサルバドル(2)
フィリピン(3)、インドネシア(2)、モンゴル(3)、ミャンマー、ネパール(2)、
ニカラグア(2)、ペルー(2)、タイ（ABC順）
うち地震学・地震工学コース 17 名、津波防災コース 6 名

（※なお、国際地震工学センターには 1 年間のコースのほか、短期コースもあり、今回の修了生を含めて 100ヶ国 1,703 名になります。）

ご面倒ですが記事掲載の折には、その記録を留めるため、下記問い合わせ先へお知らせ下さい。

（内容の問合せ先）

国立研究開発法人建築研究所
所属 国際地震工学センター
管理室長
氏名 山下 崇
電話 029-879-0678(直通)
E-mail t-yama@kenken.go.jp